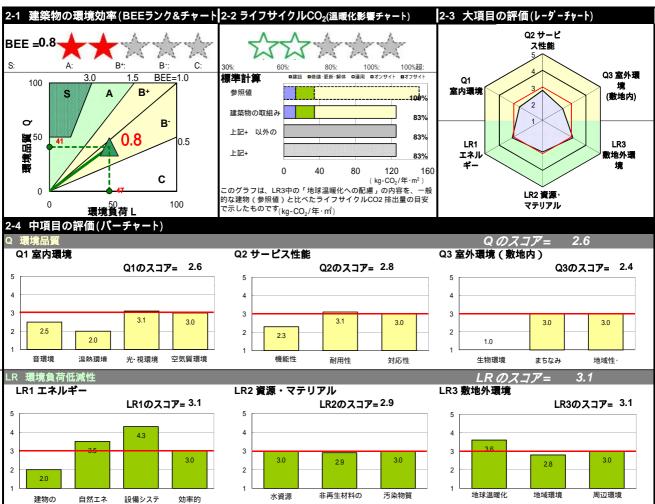
【∧\$BEE[®]新築[簡易版]

▮評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新**修 (簡易版)** 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb 2010(v.1.8)





3 設計上の配慮事項		
総合		その他
敷地や建物の植栽条件の応じた適切な緑地づくりを行っている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
昼光率は、共用部:2.737%(外来待合)・2.223%(診	厨房排気ダクト外部露出は、SUS製を使用している。給水管	植栽により、良好な景観を形成している。敷地周囲は、
療室)、宿泊部:6.35%である。	(VLP)・排水管(VP)→B、給湯管(SUS)→Cで、Eは不使用	見通しのよいフェンスを設け、防犯性・防災性に配慮し
全館禁煙である。	である。非常用発電設備を備えている。電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている。耐震クラスAを使用している。	ている。地域交流室を設け、地域の活動やにぎわいに貢
		献している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
ライトコートを設けている。ERR=21.9%である。		ライフサイクルCO2=83%である。建物利用者のための適
	節水に努めている。	切な量の自転車置場・駐車スペースの確保をしている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される